

修士論文（要旨）

2021年1月

ディスレクシアの生徒に効果的な英語（EFL）教育

— 英単語読み指導における絵本教材の有用性をめぐって —

指導 松田 麻利子 教授

言語教育研究科

英語教育専攻

219J3051

下鳥 真人

Master's Thesis (Abstract)  
January 2021

Effective English (EFL) Education for Dyslexic Students:  
The Use of Picture Books in Teaching Word-Reading Skills

Masato Shimotori  
219J3051  
Master's Program in English Language Education  
Graduate School of Language Education  
J. F. Oberlin University  
Thesis Supervisor: Mariko Matsuda

## 目次

第1章: ディスレクシア研究の意義	1
1.1 本研究の目的・意義	1
1.2 障害の定義・解説	4
1.3 特別支援教育の背景	6
1.3.1 特別支援教育とは	6
1.3.2 インクルーシブ教育と特別支援教育	7
1.3.3 現場の認識と課題	9
第2章: ディスレクシアの困難	12
2.1 ディスレクシアの困難と原因	12
2.1.1 音韻処理能力	12
2.1.2 視覚情報処理能力	14
2.1.3 自動化能力	16
2.1.4 並存	16
2.1.5 音韻性ワーキングメモリ	17
2.1.6 言語による違い	19
2.1.7 読みのモデルとディスレクシア	21
2.2 英語学習における具体的困難	24
2.2.1 音韻処理に関する困難	27
2.2.2 視覚情報処理に関する困難	29
2.2.3 自動化能力に関する困難	31
2.2.4 音韻性ワーキングメモリに関する困難	32
2.3 学校現場におけるディスレクシア: 教員へのアンケート調査から	34
第3章: 効果的な指導法	39
3.1 音韻処理能力を高める指導	39
3.1.1 フォニックス	39
3.1.2 音韻意識指導	44
3.2 多感覚を活用する指導	48
3.3 強い能力を生かす指導	52
3.4 困難を補う支援	55
3.5 ディスレクシアの生徒に効果的な指導法: まとめ	58
第4章: 絵本教材の有用性	60
4.1 英語教育における絵本	60
4.1.1 一般的な特徴	60
4.1.2 先行研究	63

4.2 ディスレクシアの生徒に効果的な絵本	66
4.2.1 絵本の言語的特徴	68
4.2.1.1 音韻的特徴	68
4.2.1.2 語彙的特徴: 形態的特徴	71
4.2.1.3 統語的特徴	74
4.2.1.4 文体的特徴	80
4.2.2 絵の特徴	84
4.2.2.1 絵の効果	84
4.2.2.2 語の意味的特徴と絵の関係	86
4.2.2.3 繰り返し構造と絵	88
4.2.3 語彙の難易度	91
4.3 絵本教材の有用性: まとめ	94
4.3.1 音韻的特徴	94
4.3.2 形態的特徴	95
4.3.3 統語的特徴	96
4.3.4 文体的特徴	97
4.3.5 絵の効果	98
第5章: 指導案の作成	100
5.1 ボトムアップ的な読み能力を高める指導	100
5.2 トップダウン的な読み能力を高める指導	103
第6章: 終章	105

注

参考文献

## 要旨

本研究では、読みに困難のあるディスレクシアの生徒に対して効果的な指導法を考案し、特別支援教育の発展に貢献することを目指す。本研究では、ディスレクシアの生徒に効果的な英単語指読み導法に焦点を当て、絵本教材の有用性の観点から指導法及び教材を分析する。

研究の結果、まずディスレクシアの読み困難のメカニズムについて、先行研究を整理することができた。ディスレクシアの困難の原因として、音韻処理能力・視覚情報処理能力・自動化能力・音韻性ワーキングメモリについて考察し、言語間の違いにも注目した。

次に、ディスレクシアのメカニズムに基づき、効果的な指導法の原理を明らかにした。国内の実践研究を中心に整理し、音韻処理能力を高める指導（フォニックス・音韻意識指導）、多感覚を活用する指導、強い能力を生かす指導、困難を補う支援という4つの原理にたどり着いた。ディスレクシアの苦手とする認知能力に直接働きかける視点と、得意な部分でどう困難を補えるかという視点を組み合わせることが重要である。

そして、ディスレクシアの英単語指導に効果的とされる絵本の特徴を、実際の絵本教材を基に分析した。音韻的特徴、語彙的特徴（形態的特徴・意味的特徴）、統語的特徴、文体的特徴、絵の効果の観点で分析した。絵の効果については、言語的特徴との関係も示した。その後、ディスレクシアの困難と効果的な指導法の枠組みで整理し、絵本の特徴がディスレクシアの困難に対応しており、効果的な指導法の原理とも一致していることが明らかになった。そして、絵本をトップダウン的な読みを促す指導とボトムアップ的な読みを促す指導の両方で活用できることが分かった。

最後に、絵本の特徴を活かすための指導案を作成した。トップダウン的な読み能力を高める指導法とボトムアップ的な読み能力を高める指導法の二つを考案した。

特別支援教育を取り入れた英語教育に関しては研究・実践の両面で十分とは言えない。本研究はディスレクシアの困難に対して、根拠のある指導法及び教材の原理・特徴を明らかにし、現場での実践に応用可能な視点を提供することができた。本研究は実証的なデザインに基づいているわけではないが、まずはこれまでのディスレクシア研究の成果を現場に還元し、教材選択の面で新たな基準を示すことができた。今後も、英語教育に特別支援教育の視点を取り入れ、ディスレクシアをはじめとする発達障害の子どもたちにとって学びやすい環境が整備されることを期待する。

## 参考文献

### 参考文献（和文）

- 秋元実治 (2002) 「proximity 〔言・文〕 (近接(性))」 寺澤芳雄 (編) 『英語学要語辞典』 研究社, 東京.
- 栗屋徳子・春原則子・宇野彰・金子真人・後藤多可志・狐塚順子・孫入里英 (2012) 「発達性読み書き障害児における聴覚法を用いた漢字書字訓練方法の適用について」 『高次脳機能研究』 32, 294-301.
- 安藤壽子 (2016) 「通常の学級での指導・支援」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 173-179) 日本評論社, 東京.
- 石塚美佳・神田みなみ・原田淳 (2013) 「リーディング」 JACET SLA 研究会 (編著) 『第二言語習得と英語科教育法』 (pp. 235-247) 開拓社, 東京.
- 板垣静香 (2020) 「英語教育におけるユニバーサルデザイン」 『関西学院大学国際学研究』 9, 177-183.
- 井上恵美・西田智子・中島栄美子・恵羅修吉 (2015) 「英語学習（書くこと）に困難を示し発達障害のある中学生 2 事例における学習支援—特別支援教室「すばる」における実践研究—」 『香川大学教育実践総合研究』 31, 95-105.
- 岩本佳世 (2020) 「日本における読み書きに困難が見られる児童生徒に対する英語の指導事例に関する文献的検討」 『上越教育大学研究紀要』 39, 427-435.
- 上岡清乃・鈴木恵太 (2019) 「英語学習に困難を示す生徒に対する効果的な指導法—フォニックスを基盤とした英単語読み指導の効果」 『全国英語教育学会紀要』 30, 257-269.
- 上岡清乃, 北岡智子, 鈴木恵太 (2018) 「英語学習に特異的な困難を示す生徒に対する英語指導法の検討」 *Journal of Inclusive Education*, 5, 77-87.
- 内山寿彦・染谷藤重 (2020) 「小学 5 年生における英語絵本読み聞かせがアルファベット学習に与える影響—児童の動機づけに焦点を当てて—」 『上越教育大学教職大学院研究紀要』 7, 225-232.
- 宇野彰 (2016) 「発達性読み書き障害」 『高次脳機能研究』 36, 170-176.
- 宇野彰・金子真人・春原則子・松田博史・加藤元一郎・笠原麻里 (2002) 「発達性読み書き障害—神経心理学的および認知神経心理学的分析—」 『失語症研究』 22, 130-136.
- 宇野彰・春原則子・金子真人・栗屋徳子・狐塚順子・後藤多可志 (2018) 「発達性ディスレクシア（発達性読み書き障害）の背景となる認知障害—年齢対対応照群との比較—」 『高次脳機能研究』 38, 267-271.
- 黄淵熙 (2007) 「英単語の綴りに困難を示す学習障害児への個別指導—特別支援教育研究センターでの実践を通して—」 『東北福祉大学研究紀要』 31, 287-294.
- 大石敬子 (2001) 「発達性読み書き障害のリハビリテーション」 『失語症研究』 21, 185-193.
- 大石敬子 (2016) 「英語学習の難しさの特徴と指導の実際」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 161-172) 日本評論社, 東京.
- 大川陽子 (2014) 「小学校英語活動における英語絵本の活用に関する研究—児童の発達段階に応じ

- た英語絵本の活用」『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』5, 31-40.
- 太田昌孝(編)(2006)『発達障害』日本評論社, 東京.
- 大谷みどり・飯島睦美・築道和明・小川巖(2015)「英語教育と特別支援教育の在り方への一考」『島根大学教育学部紀要』48, 49-53.
- 岡野由美子(2018)「発達障害の可能性のある児童への読み書きのつまずきに対する多感覚活用の視点からの支援に関する一考察—触覚教材を用いて—」『人間教育』1, 199-210.
- 加賀田哲也・村上加代子・伊藤美幸・川崎育臣・森田琢也・チェン敦子(2015)「英語授業における特別支援に関する調査」『小学校英語教育学会誌』15, 142-154.
- 加藤醇子(編著)(2016)『ディスレクシア入門』日本評論社, 東京.
- 門田修平・池村大一郎(2006)『英語語彙指導ハンドブック』大修館書店, 東京.
- 金岡水帆子(2016)「発達の特徴を知るための心理検査(1) WISC-IV 知能検査」加藤醇子(編著)『ディスレクシア入門』(pp. 83-95) 日本評論社, 東京.
- 神谷純子(2015)「英単語の読み書き能力に関するアセスメント(試案)と支援—「ひらがな・漢字の書字発達段階評価表」を応用して—」『帝京科学大学紀要』11, 109-113.
- 川崎聡大・松崎泰・荻布優子(2019)「根拠に基づいたディスレクシアの実態理解—言語障害臨床の到達点と課題—」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』67, 63-75.
- 木原美樹子(2018)「小学校英語教育における絵本の活用について—絵本の選び方を中心に—」『中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要』50, 55-62.
- 窪菌晴夫(1998)『音声学・音韻論』くろしお出版, 東京.
- 窪菌晴夫・本間猛(2002)『音節とモーラ』研究社, 東京.
- 黒崎佐仁子(2010)「第二言語話者に対するLD判断の困難さ」『聖学院大学論叢』22, 39-52.
- 小池敏英・中知華穂(2017)「LDの認知機能—英語圏と日本語圏の読み書き障害の認知的背景要因—」『児童青年精神医学とその近接領域』58, 227-235.
- 後藤多可志・宇野彰・春原則子・金子真人・粟屋徳子・狐塚順子・片野晶子(2010)「発達性読み書き障害児における視機能、視知覚および視覚認知機能について」『音声言語医学』51, 38-53.
- 小林マヤ(2013)「読み書き障害～英語を中心に～—レジリエンスに着目して—」『LD研究』22, 105-111.
- コームリー, M.(編)(2005)『LD児の英語指導: ヒッキーの多感覚学習法』(熊谷恵子 監訳) 北大路書房, 京都.
- コーモス, ジュディット & アン・マーガレット・スミス(著)(2017)『学習障害のある児童・生徒のための外国語教育』(竹田契一 監修, 飯島睦美 他 訳) 明石書店, 東京.
- 後呂直輝(2011)「英語活動における教材としての英語絵本—言語への気づきを中心に—」『岩手大学英語教育論集』13, 18-34.
- 酒井麻千子(2007)「読解における絵に関する考察—絵本理解の視点から—」『岩手大学英語教育論集』9, 1-10.
- 佐藤久美子・佐藤綾乃(2010)「L2小学生の英語絵本の理解過程と読解ストラテジー」『小学校英語教育学会紀要』10, 43-48.
- 佐藤良子(2015)「通常学級に在籍する学習困難児の英語語彙指導における視覚的補助の活用」『言語と文明』13, 81-98.

- 佐野剛雅・宇野彰・辰巳格 (2017) 「読み書き習得度の低い児童と語彙力の低い児童における音韻能力の検討—発達性読み書き障害と特異的言語障害 (SLI) における音韻障害を想定して—」 『音声言語医学』 58, 15-21.
- 執行智子・カレイラ松崎順子 (2015) 「ICTを使用した絵本を活用した中学校の英語の授業の実践報告」 『東京未来大学研究紀要』 8, 51-61
- 品川裕香 (2016) 「合理的配慮と受験における配慮申請」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 197-210) 日本評論社, 東京.
- 品川裕香 (2020) 『怠けてなんかいない! 読む・書く・記憶するのが苦手な子どもたちが英語を学ぶとき』 岩崎書店, 東京.
- 下田弘之 (2002) 「speech sound 〔音〕 (言語音)」 寺澤芳雄 (編) 『英語学要語辞典』 研究社, 東京.
- 白須康子 (2014) 「中学校の英語教育における絵本・児童文学の活用」 『人文研究: 神奈川大学人文学会誌』 154, 83-111.
- 杉本明子 (2016) 「ディスレクシアの脳科学」 『明星大学研究紀要—教育学部』 6, 97-109.
- 杉本明子 (2017) 「ディスレクシアの読字過程の認知モデルに関する考察—日本語のディスレクシアの情報処理モデルの構築を目指して—」 『明星大学研究紀要—教育学部』 7, 89-102.
- スノウリング, マーガレット. J. (著) (2008) 『ディスレクシア: 読み書きのLD—親と専門家のためのガイド』 (加藤醇子・宇野彰 監訳, 紅葉誠一 翻訳) 東京書籍, 東京.
- 武田篤 (2007) 「音韻意識と読み能力との関係—成人の読み自己評価と音韻意識課題成績の検討—」 『秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学』 62, 71-76.
- 竹林滋 (1996) 『英語音声学』 研究社, 東京.
- 田中真紀子 (2020) 『絵本で教える英語の読み書き—小学校で実践したい英語絵本の指導法』 研究社, 東京.
- 田中康雄 (2006) 「医学的観点からみた学習障害」 太田昌孝 (編) 『発達障害』 (pp. 107-125) 日本評論社, 東京.
- 谷尚樹・後藤多可志・宇野彰・内山俊朗・山中敏正 (2016) 「発達性ディスレクシア児童の音読における書体の影響」 『音声言語医学』 57, 238-245.
- 薦森英史・宇野彰・春原則子・金子真人・粟屋徳子・狐塚順子・後藤多可志・片野晶子 (2009) 「日本語での音韻認識障害が認められない英語学習困難事例」 『音声言語医学』 50, 167-172.
- 寺澤芳雄 (編) (2002) 『英語学要語辞典』 研究社, 東京.
- 東俣淳子 (2019) 「読み書きの発達における研究動向と今後の課題」 『人間発達学研究』 10, 21-33.
- 十川泰子 (2018) 「日本人の英語の先生のディスレクシアに対する認識—アンケート調査の結果から—」 『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』 9, 37-50.
- 富山敦史・若森達哉・岩崎千尋・大西貴子 (2017) 「読み書き障害 (発達性ディスレクシア) に適した教材と指導法の開発に向けて—文献研究をとおして見えてきたこと—」 『次世代教員養成センター研究紀要』 3, 131-137.
- 外山節子 (監修・著) (2010) 『英語の絵本活用マニュアル』 コスモピア, 東京.
- 豊田昌倫 (2002) 「style 〔体〕 (スタイル、文体)」 寺澤芳雄 (編) 『英語学要語辞典』 研究社, 東京.
- 豊巻敦人 (2011) 「発達性ディスレクシアの認知神経科学的理解—大細胞系視知覚と聴知覚について—」 『心理学評論』 54, 45-53.



- 中川武・佐藤敏子・山名豊美 (2012) 「音声指導の重要性—潜在的なディスレクシア学習者のために—」 『つくば国際大学研究紀要』 18, 27-40.
- 中山健・森田陽人・前川久男 (1997) 「見本合わせ法を利用した学習障害児に対する英語の読み獲得訓練」 『特殊教育学研究』 35, 25-32.
- 七見彩香・霜田浩信 (2020) 「LD 中学生における英単語の習得—英単語への語呂合わせを用いたなバイパス法の適用—」 『群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編』 69, 149-160.
- 西澤芳織 (2016) 「ディスレクシアとテクノロジー—英国の教育における現状と課題—」 『日本語教育実践研究』 3, 67-77.
- 西山正秋 (2004) 「英語学習者による単語のイメージ性評定と偶発学習」 第2回日本認知心理学会ポスター発表, 京都, 京田辺, 同志社大学.
- 畑江美佳・長倉若・島田祥子・段本みのり (2014) 「「読み書き」能力の素地作りのために小学校からできること—Phonemic Awareness を促す外国語活動の実践—」 『鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要』 5, 11-20.
- 濱本秀樹 (2008) 「早期英語教育論: なぜ児童は英語の絵本を文法、語彙知識なしで楽しめるのか」 *Shoin literary review*, 41, 37-71.
- 原恵子 (2016a) 「ディスレクシアとは」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 9-17) 日本評論社, 東京.
- 原恵子 (2016b) 「読みの難しさのメカニズム」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 39-50) 日本評論社, 東京.
- 原恵子 (2016c) 「読みの難しさを早期発見するために (3) 言語聴覚士による詳細な評価」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 64-71) 日本評論社, 東京.
- 原恵子 (2016d) 「読み書きに難しさがある子どもの事例と指導の実際 (1) 小学校低学年」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 107-118) 日本評論社, 東京.
- 春原則子 (2018) 「発達性ディスレクシアに対する根拠ある指導」 『高次脳機能研究』 38, 281-284.
- 姫野完治・関あゆみ・安達潤 (2017) 「高等学校における特別支援教育の現状と課題 (2): 現職教師と教職課程履修学生への意識調査から」 『子ども発達臨床』 9, 23-33.
- 福島美和・正高信男 (2010) 「認知科学の特別支援教育への応用」 『認知科学』 17, 356-362.
- 藤井慶博 (2014) 「インクルーシブ教育システム構築の方向性に関する検討: 教職員に対するキーワードの認知度調査を通して」 『秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要』 36, 89-98.
- 柁木貴之・久世恭子 (2014) 「英語絵本を用いた言語横断的授業—ことばへの気づきと解釈する力を育むために—」 『言語情報科学』 12, 109-125.
- 増田恵子 (2002) 「学習障害 (LD) 児に対する英語指導—フォニックスを中心に—」 『上智短期大学紀要』 22, 41-59.
- 松香洋子 (2008) 『フォニックスってなんですか?』 株式会社 mpi 松香フォニックス, 東京.
- 松本由美 (2015) 「初期英語教育における絵本の有効活用—児童の自発的反応を引出す「読み聞かせ」の試み—」 『玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要』 8, 35-41.
- 三宅美鈴 (2009) 「PC 画面による絵本読み聞かせ活動における児童の音韻表象と形態表象アクセスに関する研究: 「読み」の効果的指導法を探る」 『日本児童英語教育学会研究紀要』 28, 3-22.

- 村上加代子 (2012) 「日本の英語教育におけるディスレクシア生徒に関する一考察」 『神戸山手短期大学紀要』 55, 67-76.
- 村上加代子 (2018a) 「読み書き困難のある小学生へのアルファベット・音韻意識・単語読み指導」 『神戸山手短期大学紀要』 61, 39-53.
- 村上加代子 (2018b) 『読み書きが苦手な子どものための英単語指導ワーク』 明治図書出版, 東京.
- 村上加代子 (編著) (2019) 『目指せ! 英語のユニバーサルデザイン授業』 学研, 東京.
- 銘苅実土・中知華穂・後藤隆章・赤塚めぐみ・大関浩仁・小池敏英 (2015) 「中学生における英単語の綴り習得困難のリスク要因に関する研究—綴りの基礎スキルテストと言語性ワーキングメモリテストの低成績に基づく検討—」 『特殊教育学研究』 53, 15-24.
- 茂木俊彦 (2007) 『障害児教育を考える』 岩波新書, 東京.
- 守田好江 (2016) 「読みの難しさを早期発見するために (4) 視機能評価とは」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 72-81) 日本評論社, 東京.
- 山内まどか (2016) 「発達の特徴を知るための心理検査 (2) 日本版 KABC-II」 加藤醇子 (編著) 『ディスレクシア入門』 (pp. 96-105) 日本評論社, 東京.
- 山岡洋 (2014) 『新英文法概説』 開拓社, 東京.
- 湯澤正通・湯澤美紀・関口道彦・李思爛・齋藤智 (2010) 「英語の多感覚音韻認識プログラムが日本人幼児の英語音韻習得に及ぼす効果」 『教育心理学研究』 58, 491-502.
- 湯澤美紀・山下佳世子 (2015) 「英国における Synthetic Phonics の取組: 英語学習導入期における教育実践の現状」 『ノートルダム清心女子大学紀要』 39, 94-106.
- 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) (2013) 『ワーキングメモリと特別な支援』 北大路書房, 京都.
- 湯澤美紀・湯澤正通 (2013a) 「教室の中のワーキングメモリ」 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) 『ワーキングメモリと特別な支援』 (pp. 1-4) 北大路書房, 京都.
- 湯澤美紀・湯澤正通 (2013b) 「学びの多様さとワーキングメモリ」 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) 『ワーキングメモリと特別な支援』 (pp. 7-24) 北大路書房, 京都.
- 湯澤美紀・湯澤正通 (2013c) 「ワーキングメモリの基礎知識」 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) 『ワーキングメモリと特別な支援』 (pp. 109-121) 北大路書房, 京都.
- 湯澤美紀・河村暁 (2013a) 「読み」 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) 『ワーキングメモリと特別な支援』 (pp. 27-36) 北大路書房, 京都.
- 湯澤美紀・河村暁 (2013b) 「語彙」 湯澤美紀・河村暁・湯澤正通 (編著) 『ワーキングメモリと特別な支援』 (pp. 39-46) 北大路書房, 京都.
- 吉田晴世・加賀田哲也・衣笠知子・鄭京淑 (2015) 「音素と音韻の気づきに基づく小学校ならび中学校入門期における英語指導」 『小学校英語教育学会誌』 15, 155-166.
- 吉村美幸・吉田朋世・今井信義・福島安希子 (2017) 「小学校における英語絵本の読み聞かせの研究—担任が無理なく取り組める手法を探る—」 『福井県教育研究所研究紀要』 122, 122-133.
- 渡邊奈緒子 (2016) 「外国語学習における絵本多読の効果—絵本多読の経験がある学習者へのインタビュー—」 『一橋大学国際教育センター紀要』 7, 71-82.
- JACET SLA 研究会 (編著) (2013) 『第二言語習得と英語科教育法』 開拓社, 東京.

参考文献 (英文)

- Blachman, A. B. (Ed.) (2011) *Foundations of Reading Acquisition and Dyslexia: Implications for early intervention*, Routledge, New York.
- Bogdanowicz, M. K., G. Krasowicz-Kupis, & K. Wiejak. (2016) In search of effective remediation for students with developmental dyslexia: A review of contemporary English literature. *Polish Psychological Bulletin*, 47, 270-280.
- Bourassa, C. D., M. Bargen, M. Delmonte, & H. S. Deacon. (2019) Staying rooted: Spelling performance in children with dyslexia. *Applied Psycholinguistics*, 40, 427-444.
- Carlisle, F. J. (2010) Effects of instruction in morphological awareness on literacy achievement: An integrative review. *Reading Research Quarterly*, 45, 464-487.
- Duranovic, M., S. Tinjak, & A. Turbic-Hadzagic. (2014) Morphological knowledge in children with dyslexia. *J Psycholinguist Res*, 43, 699-713.
- Fallon, A. K. & L. A. Katz. (2020) Structured Literacy Intervention for students with dyslexia: Focus on growing morphological skills. *Language, Speech, and Hearing Services in Schools*, 51, 336-344.
- Fawcett, J. A. (Ed.) (2001) *Dyslexia: Theory and good practice*, Whurr Publishers, London.
- Frith, U. (1985) Beneath the surface of developmental dyslexia. In K. Patterson, M. Coltheart, & J. Marshall (Eds), *Surface Dyslexia: Neuropsychological and Cognitive Studies of Phonological Reading* (pp. 301-330). Lawrence Erlbaum, Mahwah, NJ.
- Greaney, T. K., W. E. Tunmer, & J. W. Chapman. (2011) The use of rime-based orthographic analogy training as an intervention strategy for reading-disabled children. In A. B. Blachman (Ed.), *Foundations of Reading Acquisition and Dyslexia: Implications for early intervention* (pp. 327-346). Routledge, New York.
- Griffiths, M. Y. & M. J. Snowling. (2001) Auditory word identification and phonological skills in dyslexic and average readers. *Applied Psycholinguistics*, 22, 419-439.
- Law, M. J., A. Veisapak, J. Vanderauwera, & P. Ghesquiere. (2018) Morphological awareness and visual processing of derivational morphology in high-functioning adults with dyslexia: An avenue to compensation? *Applied Psycholinguistics*, 39, 483-506.
- Lundberg, I. & T. Høien. (2001) Dyslexia and Phonology. In J. A. Fawcett (Ed.), *Dyslexia: Theory and good practice* (pp. 109-123). Whurr Publishers, London.
- Miyake, M., F. Matsukawa, & T. Shigeyasu. (2011) Effects of listening-to-and-looking-at picture storybook activities: In terms of matching sound and spelling. 『全国英語教育学会紀要』 22, 63-77.
- Mobiniazad, M. M. (2018) What are dyslexia and its effects on teaching language skills? *Theory and Practice in Language Studies*, 8, 218-225.
- Nicholson, T. (2011) Closing the gap on reading failure: Social background, phonemic awareness, and learning to read. In A. B. Blachman (Ed.), *Foundations of Reading Acquisition and Dyslexia: Implications for early intervention* (pp. 381-408). Routledge, New York.
- Quemart, P. & S. Casalis. (2015) Visual processing of derivational morphology in children with

- developmental dyslexia: Insights from masked priming. *Applied Psycholinguistics*, 36, 345-376.
- Robertson, K. E. & M. F. Joannisse. (2010) Spoken sentence comprehension in children with dyslexia and language impairment : The roles of syntax and working memory. *Applied Psycholinguistics*, 31, 141-165.
- Thambirajah, S.M. (2010) Developmental dyslexia: An overview. *Advances in psychiatric treatment*, 16, 299-307.
- Uno, A., T. N. Wydell, N. Haruhara, M. Kaneko, & N. Shinya. (2009) Relationship between reading / writing skills and cognitive abilities among Japanese primary-school children: Normal readers versus poor readers (dyslexics). *Reading and Writing*, 22, 755-789.
- van der Leij, A. & V. H. P. van Daal. (1999) Automatization aspects of dyslexia: Speed limitation in word identification, sensitivity to increasing task demands, and orthographic compensation. *Journal of Learning Disabilities*, 32, 417-428.
- van Viersen, S., E. H. de Bree, L. Kalee, E. H. Kroesbergen, & P. F. de Jong. (2017) Foreign language reading and spelling in gifted students with dyslexia in secondary education. *Read Writ*, 30, 1173-1192.
- Wolf, M. & B. O'Brien. (2001) On issues of time, fluency, and intervention. In J. A. Fawcett (Ed.), *Dyslexia: Theory and good practice* (pp. 124-140). Whurr Publishers, London.
- Wolter, A. J. & G. Collins. (2017) Morphological awareness intervention for students who struggle with language and literacy. *Perspective on Language and Literacy*, 43, 17-22.
- Wydell, N. T. & B. L. Butterworth. (1999) A case study of an English-Japanese bilingual with monolingual dyslexia. *Cognition*, 70, 273-305.

## 参考資料

- 文部科学省 (平成 11 年) 「学習障害児に対する指導について (報告)」
- 文部科学省 (平成 14 年) 「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査 調査結果」
- 文部科学省 (平成 15 年) 「今後の特別支援教育の在り方について (最終報告)」
- 文部科学省 (平成 19 年) 「特別支援教育の推進について (通知)」
- 文部科学省 (平成 24 年) 「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」
- 文部科学省 (平成 25 年) 「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について (通知)」
- 文部科学省 (平成 29 年) 「特別支援教育資料 (平成 29 年度)」
- 文部科学省 (平成 30 年) 『中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 外国語編』
- 文部科学省・初等中等教育分科会 (平成 24 年) 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (報告)」
- 文部科学省・中央教育審議会 (平成 17 年) 「特別支援教育を推進するための制度の在り方について (答申)」

参考教材: 教科書等

- 笠島準一・関典明 他 (2016) *New Horizon English Course 1* 東京書籍, 東京.
- 東京書籍教材編集部 (2016) 『東京書籍の教科書要点ズバッ! ニューホライズン英単語・英熟語 2年』東京書籍, 東京.
- 東京書籍教材編集部 (2016) 『東京書籍の教科書要点ズバッ! ニューホライズン英単語・英熟語 3年』東京書籍, 東京.
- 開隆堂編集部 (2016) 『中学英語サンシャイン完全準拠 英単語・熟語 1』開隆堂, 東京.
- 開隆堂編集部 (2016) 『中学英語サンシャイン完全準拠 英単語・熟語 2』開隆堂, 東京.
- 開隆堂編集部 (2016) 『中学英語サンシャイン完全準拠 英単語・熟語 3』開隆堂, 東京.
- 清田洋一 他 (2017) *All Aboard! English Communication I* 東京書籍, 東京.

参考教材: 絵本

- Aboff, M., illustrated by Gray, S. (2009) *If you were a suffix*, Picture Window Books, Mankato, MN.
- Carle, E. (1992) *Draw Me a Star*, Puffin Books, London.
- Carle, E. (2011) *THE ARTIST WHO PAINTED A BLUE HORSE*, Puffin Books, London.
- Escoffier, M., illustrated by Di Giacomo, K. (2015) *Take AWAY the A*, Anderson Press, London.
- Lionni, L. (1987) *little blue and little yellow*, Knopf, New York.
- Munari, B. (2006) *ABC*, Chronicle Books, San Francisco.
- Seeger, V. L. (2004) *LEMONS ARE NOT RED*, Square Fish, New York.
- Teckentrup, B. (2018) *Under the Same Sky*, Caterpillar Books, London.
- Wick, W. (photographs), Marzollo, J. (riddles) (1996) *I SPY SPOOKY NIGHT: A book of picture riddles*, Scholastic, New York.
- Ahlberg, J. & Ahlberg, A. (1981) *PEEPO!*, Penguin Books, London. 佐野洋子 訳 (1998) 『なにみてる?』文化出版局, 東京.
- Carle, E. (1990) *The Very Quiet Cricket*, Philomel Books, New York. 工藤直子 訳 (1997) 『だんまりこおろぎ』偕成社, 東京.